

2011年7月4日発行

エコ・リサ通信

第75号

特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会広報

～ 報告 ～

- 〔 第7期通常社員総会 〕
- 〔 総会記念講演 〕
- 〔 資源循環推進課コーナー 〕
- 〔 みんなでエコなお買い物運動 〕
- 〔 エコ・リサ研修見学会のお知らせ 〕



第7期通常社員総会の様子

3重の効果

自由に電力会社を選ぶことのできない消費者が、今できること、それが、アンペアダウン(電力契約量を小さくする)です。

- ①基本料金が減る
- ②節電努力に結びつく
- ③東電の電力供給義務が減る

アンペアダウンは、究極の節電/節約方法です。**3重の効果**が期待できます。

NPO法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会

【第7期通常社員総会 - 開催報告 - 】



来賓:JC 内田会長

- 1 日時 平成23年5月19日(土)午後1時30分から午後3時00分
- 2 場所 さいたま市大宮区桜木町1-7-5大宮ソニックシティビル803
- 3 社員総数 82名
- 4 出席社員数 69名 (内訳 本人出席 24名 書面表決者 45名)



来賓:梶 齋藤主幹

5 議題

- 第1号議案 平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)事業報告承認の件
- 第2号議案 平成22年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書承認の件
- 第3号議案 平成23年度役員選任の件
- 第4号議案 平成23年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)事業計画承認の件

第5号議案 平成23年度収支予算承認の件

6 議事の経過及び結果

(1)理事大前万寿美氏が本日の社員総会は定足数を満たして有効に成立している旨の説明後、開会を宣言した。

(2)理事大前万寿美氏から議長の立候補を求めましたが立候補者が無かったので、清水 守氏を指名、議長の選任につき諮ったところ、満場一致をもって理事の清水 守氏を議長に選任した。

(3) 議事録署名人選任の件

議事録署名人につき立候補を求めましたが立候補者が無かったので、議長から本日出席の高木康夫氏及び石川恵輪氏を指名し諮ったところ、満場一致をもって同意がなされた。

また、議長は書記として本日出席の田中輝子氏を指名し了承を得た。

(4) 第1号議案 平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)事業報告承認の件

議長は上記議案を上程し、平成22年度の事業の内容につき概要を専務理事宮田尚美氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

(5) 第2号議案 平成22年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書承認の件

議長は上記議案を上程し、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の内容につき概要を理事高橋茂仁氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案を承認可決した。

引き続き、監事の平田 繁氏より第1号議案および第2号議案についての監査を行った結果、事業活動・収支計算書が公正に処理されている旨、報告された。

(6) 第3号議案 平成23年度役員選任の件

議長は上記議案を上程し、理事及び監事の全員が平成23年5月31日をもって任期が満了するので、理事1名より辞任届を受理した説明の後、改めて残りの理事10名及び監事2名の選任を継続したい旨、又、新任理事2名を指名したい旨を述べ、原案の下記理事12名及び監事2名の候補者につき議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決し、選任された理事及び監事は、その場で、就任を承諾した。

直ちに別会場において第2回理事会を開き、役員互選を行い専務理事宮田尚美氏より報告された。



新旧会長

記

理事	石川 恵 輪(再任)	理事	大 前 万寿美(再任)
理事	上 領 園 子(新任)	理事	齊 藤 勉(再任)
理事	清 水 守(再任)	理事	高 木 康 夫(再任)
理事	高 橋 茂 仁(再任)	理事	土 淵 昭(再任)
理事	轟 涼(再任)	理事	中 澤 啓 子(新任)
理事	原 田 史(再任)	理事	宮 田 尚 美(再任)
監事	島 田 憲 一(再任)	監事	平 田 繁(再任)

(7) 第4号議案 平成23年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)事業計画承認の件

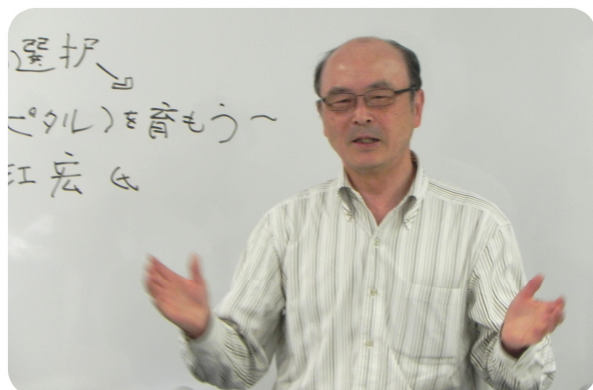
議長は上記議案を上程し、平成23年度事業計画の概要を専務理事宮田尚美氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

(8) 第5号議案 平成23年度収支予算承認の件

議長は上記議案を上程し、平成23年度収支予算の概要を理事高橋茂仁氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案を訂正し承認可決した。

【総会記念講演報告】

テーマ「100、59、0の選択」 ～地域力(ソーシャルキャピタル)を育もう～



講師 亜細亜大学 大江 宏 氏

新焼却施設建設に行政と住民がどのような取り組みをしているか、大江先生がかかわられている多摩地区の市民参加方式による3つのごみ焼却施設建設事業について、経過を煙突の高さに例えて、お話をいただきました。

「100」メートルのケース：(仮称)ふじみ衛生組合新ごみ処理施設(調布市深大寺)

三鷹市(17万7985人、三鷹市環境センターS60)と調布市(21万5757人、二枚橋衛生組合S32)の処理施設整備を、H11に両市で合意。

処理方式や建設候補地で意見の対立があったが、市民参加の検討で、炉型式や建設地を決定した。それを受けて、建設仕様の具体的検討のために、H18に施設整備市民検討会を立ち上げ、議論を重ねた結果、規模を304t/日から288t/日(144t×2炉)に変更、建屋の高さを35mから28mに変更した。また、煙突の高さは有害物質の濃度を可能な限り下げするために、市民は100メートルの高さを選択した。

背景

調布市、府中市及び小金井市から排出される可燃ごみの焼却処理を目的として、昭和32年2月に設立された二枚橋衛生組合は、平成19年3月に施設の老朽化により全焼却炉を停止。

「0」メートルのケース：(a)「ゼロウエスト」(b)小金井市新ごみ処理施設建設事業

煙突を作らない(a)のケースもあるが、ここでは作りたくても建設の目途が立たない(b)のケースである。

二枚橋焼却場跡地で3市から出る可燃ごみ全量进行处理する施設の建て替えが困難とされ、小金井市(11万6044人)では、国分寺市(11万5943人)との共同処理を選択し、小金井市内での焼却炉建設と、建設までの同市のごみ焼却を国分寺市に依頼する方針とした。しかし、用地選定ができない中で、H19に「小金井市新ごみ処理施設建設場所選定等市民検討委員会」を設置し、地元住民の反対と調布市・府中市から二枚橋跡地

背景

焼却炉やボイラの耐用年数とされる30～35年に近づきつつある現施設。H18年に、大規模改修か建て替えが不可欠との調査結果が出た。

利用の合意を得られないまま、跡地に新施設を建設することをH22 に答申し、議会と行政もその線で決定した。

このため、新施設が建設され稼働するまでの相当長期間にわたり、小金井市から発生する可燃ごみ全量の処理を多額のコストを掛けて他団体の施設に依頼せざるを得ない状況にある。

戸別収集、有料化、家庭用生ごみ処理機の大量導入、事業者・団体での大型生ごみ処理機導入、雑紙リサイクル袋などの導入で、H21 年度の小金井市の総ごみ量は、642g/1 人/1 日と、3R のすすむ多摩地域の中でも最少になっている。しかし周辺の関係市への依存と財政負担を減らすためさらなる減量に努めなければならない。何メートルものでもよいから煙突の欲しい同市の困難は続いている。

「59」メートルのケース：(仮称)新武蔵野クリーンセンター

H20 に「(仮称)新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会」、H22 に「新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設基本計画策定委員会」、「新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備協議会」などを設置し、かつて「武蔵野方式」で注目された市民参加の歴史を引き継ぐコンセンサスづくりを続けている。

熱を加えて煙突から出る白煙を消すための白煙防止装置は合理的でないとして、装置を停止する実験を公開で実施し、市民意見を聴取し、委員会で検討して、装置を設置しないことにした。

煙突の高さは、高ければ計算上の拡散効果は高まるが、安心・安全を前提としつつも、単に数値の低さの追求ではなく、科学的・合理的な規制値を議論した。さらに、建築費用の削減、愛着ある景観の保全、解体廃棄物の削減といった観点から、現施設の煙突の再利用を決定した。

以上、3つの事例を比較してみると、「地域力」=市民の関わり方の度合い(市民の関心度、参加度、行政との信頼関係など)によって、重要な公共事業の道のりと内容が違ってくるように思える。例えば、焼却工場建設では、地域コミュニティ内の意思疎通と信頼関係が高ければ、安心安全のコストを低く抑え、より合理的な判断ができる可能性が大きくなると思える。行政との信頼関係には、説明責任・透明性・対応の仕方などが不可欠である。残念ながら若い人の参加は少ないが、70歳代でも元気な時代であり、積極的に参加する市民は存在する。イベント性などの仕掛けづくりが大切であるとのことでした。

(報告者:大前万寿美)

【資源循環推進課コーナー】

「刷新しました！新マイバッグ・マナーポスター」

埼玉県では民間事業者や市民団体の方々と協働してレジ袋削減、マイバッグ持参運動に取り組んでいます。

23年3月に新たなマナーポスターを作成。(右参照) →
要望のあった県内市町村をはじめ、「みんなでエコな買い物運動」協力参加登録店にもお知らせし、店頭掲示にご協力いただける店舗に配布を開始しています。

!!! 募集しています !!!

マナーポスターの店頭掲示協力店

店頭掲示に御協力いただける店舗を募集します！
資源循環推進課までご連絡下さい。

電話 048-830-3106

FAX 048-830-4791



(大きさA2判:420×594mm)

「携帯電話でお得情報をキャッチしましょう！」

マイボトル運動の新規配信サービスが始まっています！」

Nttドコモ情報配信サービス「iコンシェル」による適時配信サービスがH22年10月18日から開始しました。

利用対象者は、iコンシェルサービス契約者に限られていますが、従来の携帯サイトからの情報に加え、各協力店舗の最新の更新情報(クーポンやイベント情報等)を自動的に入手できます。

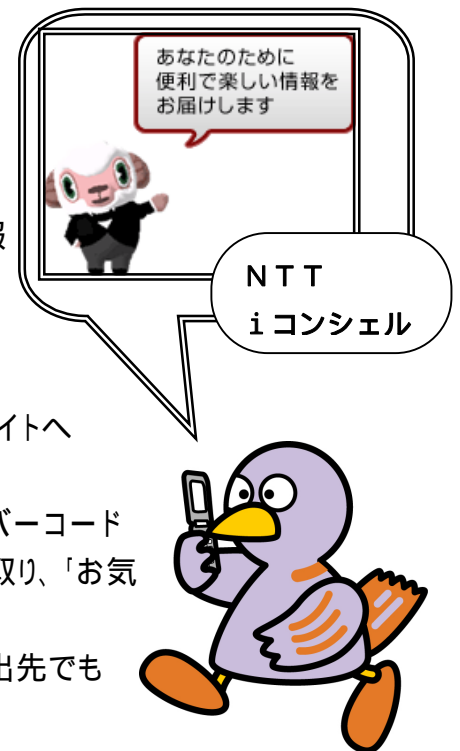
iコンシェルからの情報の取得方法

1. コンシェル用QRコードを読み取り、Webサイトへ接続
2. Webサイトの『ダウンロード』のリンク先をクリックし、関連サイトへ一般的な携帯サイトからの情報取得



協力店舗の携帯サイトのアドレスは、左記のバーコードをカメラ付き携帯のバーコードリーダーで読み取り、「お気に入り」に保存しておくと便利です。

市町村別に協力店舗情報が得られるので、外出先でも探すことができ便利です。



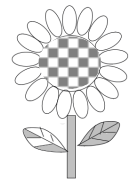
【埼玉県 みんなでエコなお買い物運動】

6月1日から、埼玉県のHPに掲載されているエコな買い物ガイドの一部をご紹介します。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/kaimono.html>

今回登録のお店リスト(平成23年1~2月の調査・登録店)をご覧になり、お近くのお店を訪ねてみてください。

アンペアダウンしよう



アンペアダウンは究極の節電/節約法です。誰でもできて三重の効果が期待できます！

2011年5月

アンペアダウンとは：

福島原発事故による3月後半の「計画停電」は、その後の節電効果と休止中の火力発電再開などによって必要なくなりましたが、冷房需要が急増する夏場には再び供給力が需要のピークに対応できなくなる可能性もあり、更なる節電と供給力増強が急務です。

簡単に節電

家庭でできる節電法で、比較的知られていない割には大きい効果が期待できる方法が「アンペアダウン」です。

皆様のご自宅でも東電と契約している使用電力アンペア数は、通常20アンペアから10アンペア刻みで60アンペアまでありますが、この契約アンペアを1ランク又は2ランク下げて、例えば60アンペアを50か40アンペアに変更(ダウン)することです。

どういう利点があるか：

アンペアダウンすると、皆様のご自宅での節電効果と二重の電力料金負担減だけでなく、東京電力の供給義務が減って、夏場の電力需要のピークでも停電なしで乗り切れる強力な手段になるのです。具体的には、

1. 節電効果及び電力料金の二重の節約効果：

(1) 毎月の基本料金が減ります。

各家庭と東電との間のアンペア契約には、アンペア数に応じて下表のような基本料金が課されています。

アンペア数	20A	30A	40A	50A	60A
基本料金(円/月)	546	819	1,092	1,365	1,638

即ち、60A の契約を40A に下げると、基本料金は、
 $1,638 - 1,092 = 546$ 円/月、
 $546 \text{ 円} \times 12 \text{ ヶ月} = \text{年間 } 6,552 \text{ 円の節約になります。}$

(2) アンペアダウンをキッカケにして家族での節電努力に結びつけば、(1)を上回る効果も期待できます。

例えば、4人家族でいろいろな電気製品を使っている家庭が毎月平均使用電力を500kWhから2割減らして400kWhにしたとすると、毎月の電気料金は11,100円/月から8,660円/

節電に成功すれば、お父さんや私のお小遣いが増えるかも！

月と2,440円/月(=29,280円/年)もの削減、(1)と併せて約36千円の削減になります。

(3)上記は各家庭での節減効果ですが、もう一つ大きな効果があります。それは**東電の電力供給義務が減る**という効果です。東電の供給義務は家庭との契約アンペア数の総合計がベースですから、アンペアダウンをすると供給義務がその分軽減されるのです。仮に平均2割のアンペアダウンが実現すれば家庭用全体では200万kW減になると試算されています。もう下げる余地のない家庭がある反面、3~5割まで下げられる家庭もありますので、2割減は実現可能な目標です。最近、エコリビング、エコクッキング、節電グッズなど日本中が節電ムードで、こう云う際の日本人の対応は期待できる気がします。

(4)専門家の試算によれば、**大規模工場や事務所**で25%節電すると全体では500万kW、**中規模事業所**が25%で300万kWですから、家庭での削減と併せて1,000万kWもの削減が可能だということです。

(5)上記すべて実現すれば、夏の冷房ピーク時でも交通機関や病院など優先的に電力を供給しても、「**計画停電**」は**必要ない**ことになります。節電効果が上記の半分でも、休止中の火力発電再開もあり、よほどの酷暑でもない限り停電は無用と言われます。

2. アンペアダウンの仕方:

(1) 我が家の電気が何アンペアかを調べる(ブレーカーの上にあります)。

(2) 家族で話し合って何アンペアにするかを定める。

(3) 電気料金の領収証を手許において、東京電力に工事を依頼する。

0120-995-001 または 0120-995-005

工事費は無料 工事時間は10~15分位

(4)アンペアダウン終了:これだけです。

3. アンペアダウンの注意点:

(1)炊飯器、電磁調理器、電子レンジ、ドライヤーなど使用電力の大きい機器を同時に使うと契約アンペア数を超え、**ブレーカーが落ち**ることがあります。この場合にはどれか一つを止めてブレーカーを上げてください。主な電気器具のおおよそのアンペア数は以下の通りです。いずれも1個当たり。

電磁調理器	14A	掃除機	10A	冷蔵庫	1.5A
炊飯器	13A	エアコン	10A	扇風機	1A
電子レンジ	12A	アイロン	10A	室内照明	1A
ドライヤー	12A	洗濯機	4A	TV/ノート型PC	各1A

(2)例えば、炊飯器使用中は電子レンジを使わない、ドライヤー使用中に掃除機は使わない、テレビは1部屋に集まってみる、など、**家族が話し合ってピーク電力を分散**して使うキッカケになれば、家族の対話ときずなが強まるなど望外の効果が生ずる可能性もあります。

以上

(2011・5・15 河登記)

エコ・リサ研修見学会のお知らせ

詳細は同封のチラシをご覧ください。

お友達を誘って、申込みはお早めに！

現地の交通事情により、募集人員を30名とさせて頂くことになりましたので、ご参加希望の方は、当会ホームページの申込フォーム、または、チラシの申込用紙にご記入の上FAXで、お早めにお申し込みをお願い致します。

定員になり次第、締切とさせていただきます。

吉岡自然エネルギーパークには、
小水力発電所もあります。



申込み締め切り8月10日(水)

研修見学会実施期日：平成23年8月22日(月)雨天決行

参加費：1名 会員2,500円、非会員3,000円

期 日	行 程 表	食 事
8/22 (月)	川越駅西口8時30分集合・出発 = 川越IC = 関越道 = 渋川伊香保IC = 吉岡自然エネルギーパーク(見学 10:00 ~ 11:00) = 昼食(食の駅伊香保)(11:30 ~ 12:30) = 吾妻渓谷(ハツ場ダム建設予定地・浅間酒造観光センター)(見学 13:00 ~ 16:00) = 渋川伊香保IC = 関越道 = 川越IC = 川越駅西口18:00頃解散	昼

エコ・リサ 入会のご案内

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

会費(年間) 個人会員 3,000円
団体会員 5,000円
賛助会員 10,000円(1口)
協賛バナー登録 50,000円(年間)

* 振込み先・会費納入の際のご注意

郵便振替口座番号 00110-7-764571
加入者名 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会
埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 5392559
名義 特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会

郵便振替で入金される方は、お手数ですが
通信欄に新規会員あるいは 会員
年度分と明記の上、お振り込みをお願い
いたします。(事務局)

** エコ・リサ会員の方にエコ・リサ通信の今後の配信方法についてお願い**

事務作業、省コストの点からmail配信への移行をすすめております。

メール配信希望の方は ecorisa-npo@fuyo-hin.com まで「エコ・リサ通信mail配信希望」として氏名・アドレスの連絡をお願いします。

編集後記

東日本大震災や原発事故で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い収束を願い、私たちにもできることとして、アンペアダウンの呼びかけをいたします。